



(株)スカパーJSATホールディングス 会社説明会

株式会社スカパーJSATホールディングス

証券コード：9412（東証プライム）

※2025年2月21日収録時点

本日の説明内容

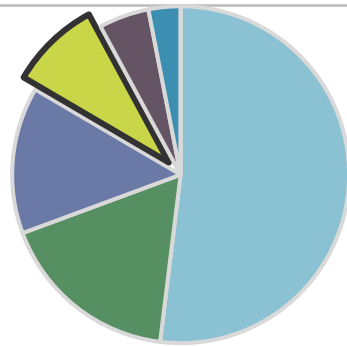
1. スカパーJSATの概要
2. 事業紹介
3. 成長投資と株主還元

このプレゼンテーション資料に掲載されている予想、戦略、経営方針、目標等のうち、歴史的事実でないものは、将来の見通しに関する記述であり、現在入手可能な情報に基づく経営陣の予測、計画、期待、判断などを基礎としています。これらの将来の見通しは、様々なリスクや不確定要因の影響を受けるため、現実の結果が見通しと著しく異なる可能性があります。

会社概要

会社名	株式会社スカパーJ S A Tホールディングス
所在地	〒107-0052 東京都港区赤坂1-8-1 赤坂インターシティAIR
設立	2007年4月2日
資本金	10,172百万円（2024年7月19日現在）
取引市場	東京証券取引所プライム市場 （証券コード 9412）

所有者別
株式分布
(2024年9月末時点)



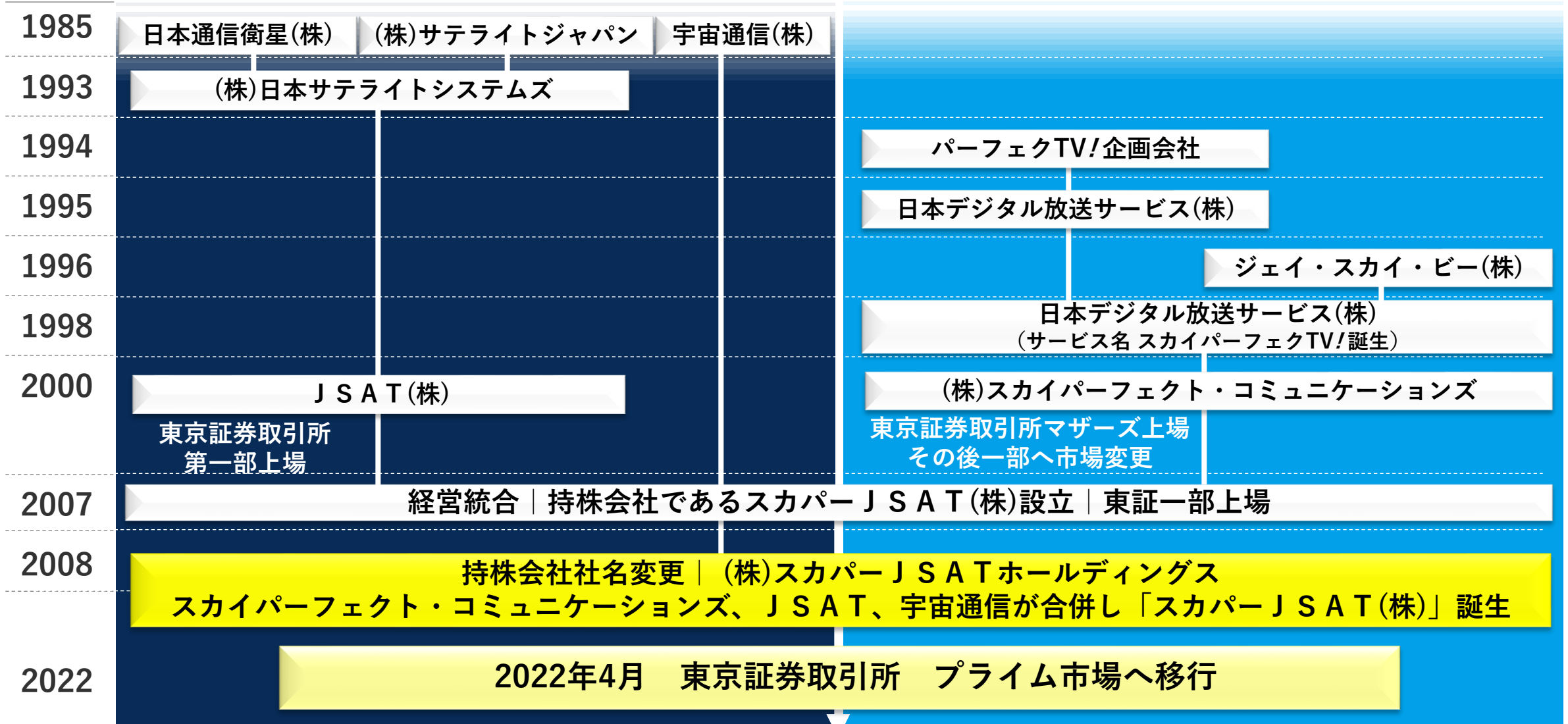
■ その他国内法人	52.47%
■ 外国人	18.88%
■ 金融機関	14.12%

■ 個人・その他	8.43%
■ 自己名義株式	4.81%
■ 証券会社	1.28%

スカパー J S A T の歩み ~宇宙ビジネス35年の実績~

宇宙事業

メディア事業



持株会社 | (株)スカパー J S A T ホールディングス
(東証プライム上場 : 9412)

中核事業会社 | スカパー J S A T (株)
(100%子会社)

宇宙事業

メディア事業



スカパー!

J S A T MOBILE
Communications (株)

J S A T
International Inc.

(株)スカパー・
ピクチャーズ

(株)スカパー・
ブロードキャスティング

(株)スカパー・
エンターテイメント

持分法適用
関連会社

(株)Space Compass

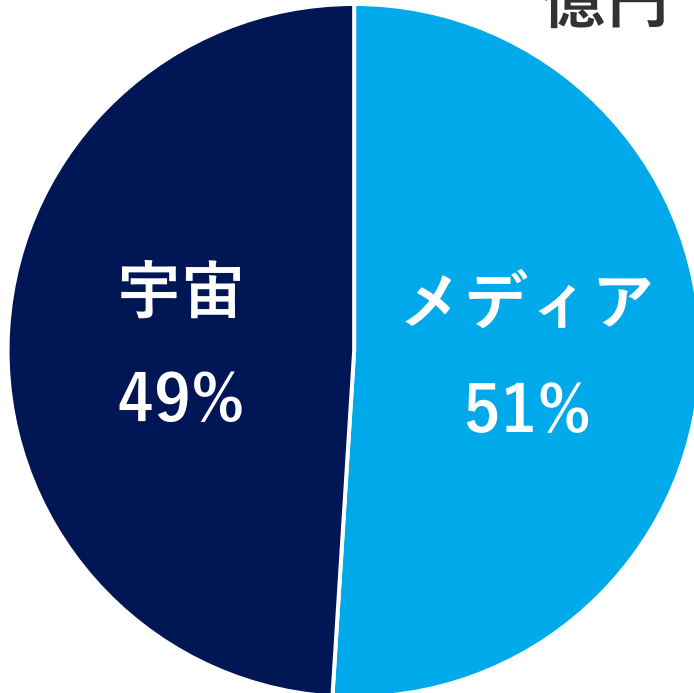
スカパーJSATグループの事業規模

2023年度通期実績

連結営業収益

1,218

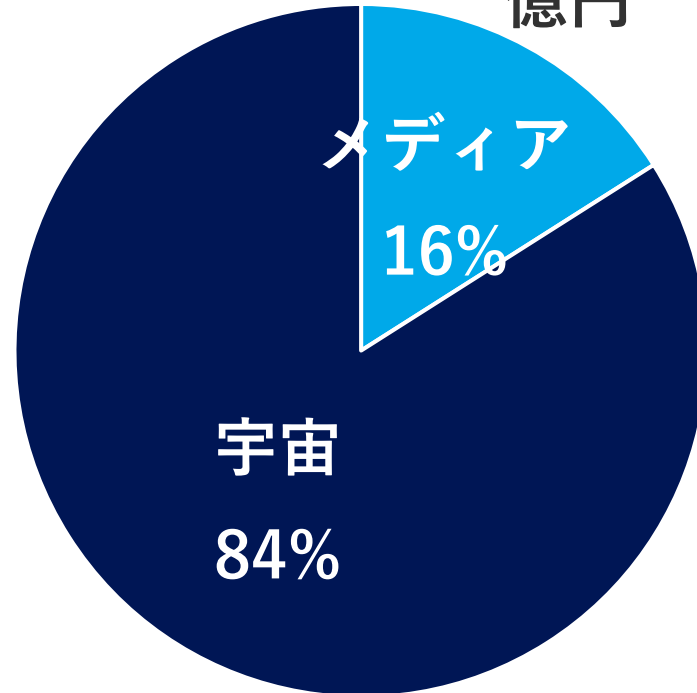
億円



連結営業利益

265

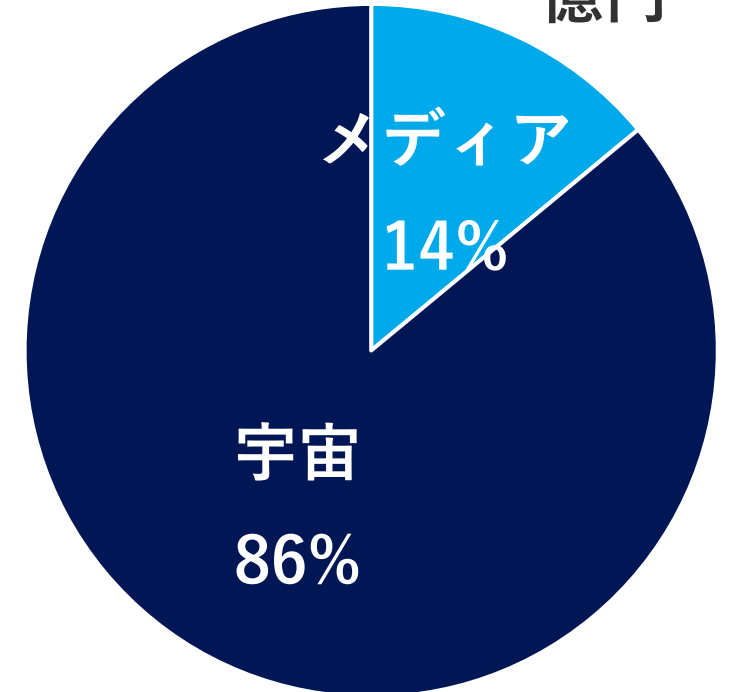
億円



親会社株主に帰属する
連結当期純利益

177

億円



※親会社株主に帰属する当期純利益構成比は、セグメント間取引および調整額を含んでいます

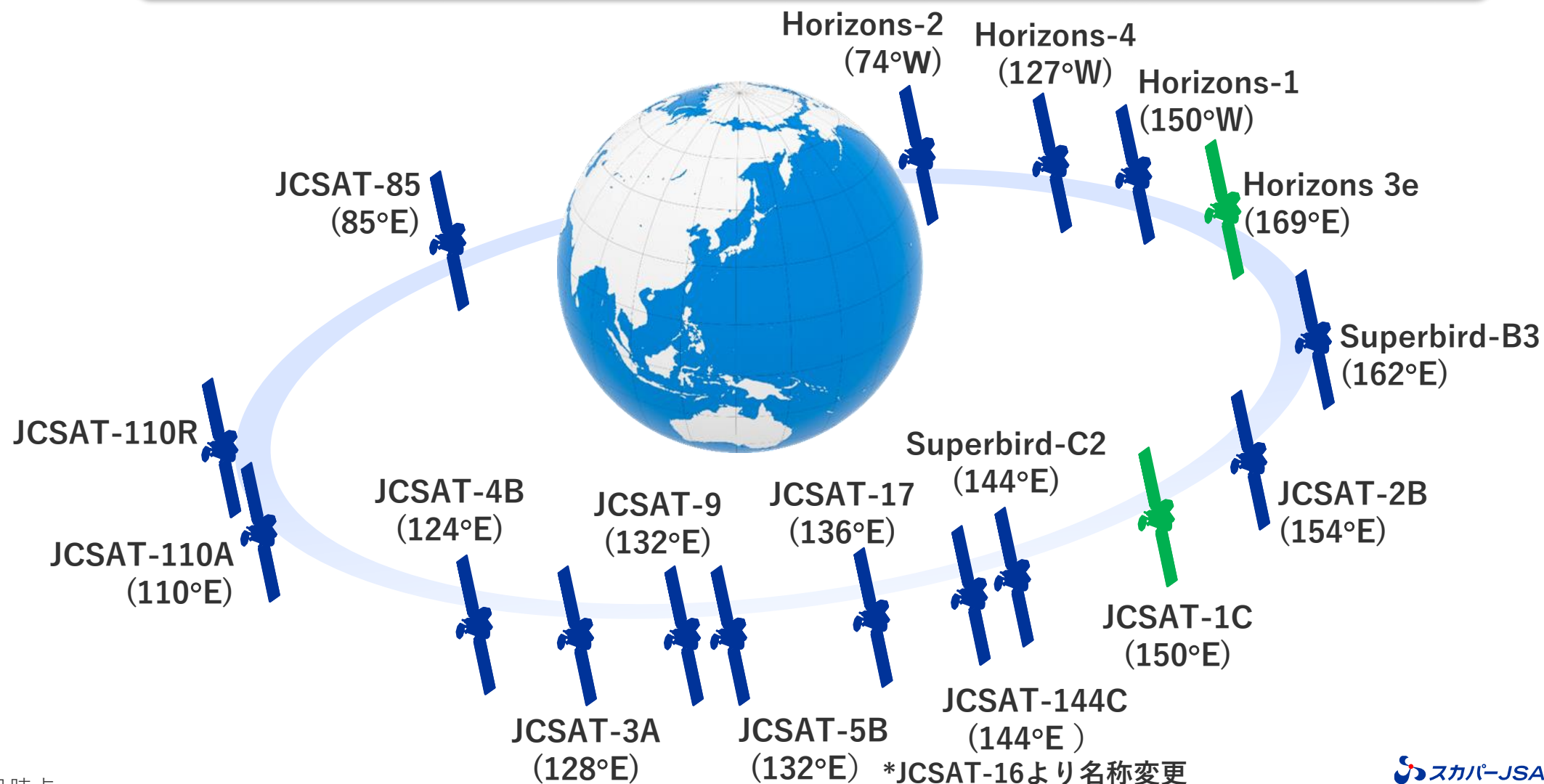


SKY Perfect J S A T Group

SPACE

宇宙事業

アジア最大 計17機の衛星を保有



衛星の調達から運用まで

1 事前検討

- ・ 軌道位置の確保
- ・ 需要予測

2 衛星の仕様検討

- ・ サービスエリア
- ・ 搭載周波数
- ・ 中継機数

3 発注・製造

- ・ メーカー選定
- ・ 工程管理および性能評価を実施

4 静止軌道への投入

- ・ 軌道上で性能試験実施

5 運用

- ・ 衛星監視・制御
- ・ 通信サービス提供



衛星調達コスト200~500億円程度

製造費

打ち上げ費

保険料

2~3年

工程ごとに、都度分割払い

償却開始

設計寿命15年
定額法で償却

固定資産
に計上



事業概要



宇宙事業の収益構成比

通信関連事業

2023年度営業収益 **647** 億円

営業収益構成比



国内衛星通信

衛星通信の特徴である耐災害性を活かし、官公庁や電力・ガス等の公共インフラ企業にBCP対策として通信回線を提供。その他、携帯電話基地局向けバックホール回線等を提供。長期契約等による安定した事業地盤。

48%



グローバル・モバイル

海外の官公庁やインフラ企業等へ通信回線を提供。モバイル分野では、航空機・船舶向けに通信回線を提供。特に航空機Wi-Fi需要が旺盛であり、需要が見込まれる分野。

27%

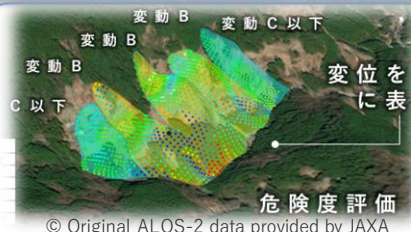


国内衛星放送

スカパー！のプラットフォームサービスを利用するチャンネル運営事業者へ衛星回線を提供。

21%

スペースインテリジェンス事業



地球観測衛星から得られる画像や位置情報などの様々なデータを活用したサービスを提供。官公庁における安全保障需要や防災・減災分野に加え、新たな市場の開拓に取り組んでおり、成長を期待する分野。

4%

国内衛星通信

■ 官公庁・自治体、企業向け 堅固な通信基盤を提供

- 官公庁・自治体、電力会社等への衛星通信サービス
- 重要拠点間通信、災害対策・BCP用バックアップ回線

■ 携帯キャリア向け 携帯基地局バックホール回線を提供

- 携帯電話基地局と基幹網を結ぶ衛星回線の需要増
- 離島や山間僻地の衛星バックホール回線
- 災害対策としての携帯移動基地局向け衛星回線

■ 衛星運用管制受託サービス

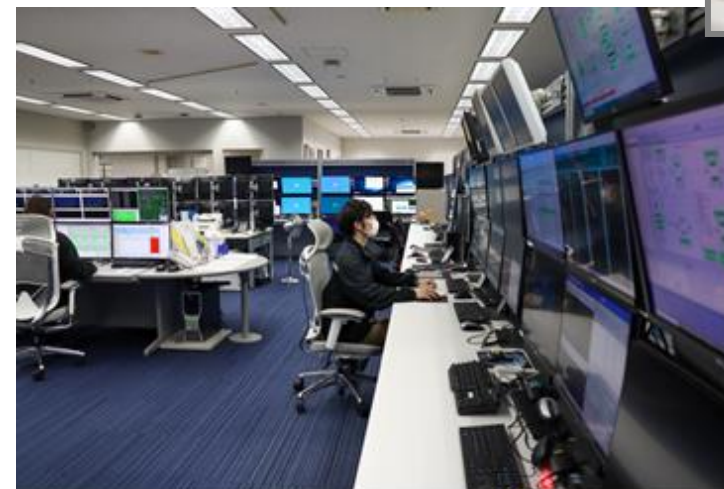
- 防衛省、JAXA、QPS研究所の衛星運用等

■ 地上局サービス

- 低軌道衛星向け地上局サービス
- JAXA向け近地球追跡ネットワークサービス
(サービス提供準備中)



災害現場の携帯移動基地局



横浜衛星管制センター内管制室

グローバル&モバイル

■ アジア太平洋・北米を中心にグローバル事業展開

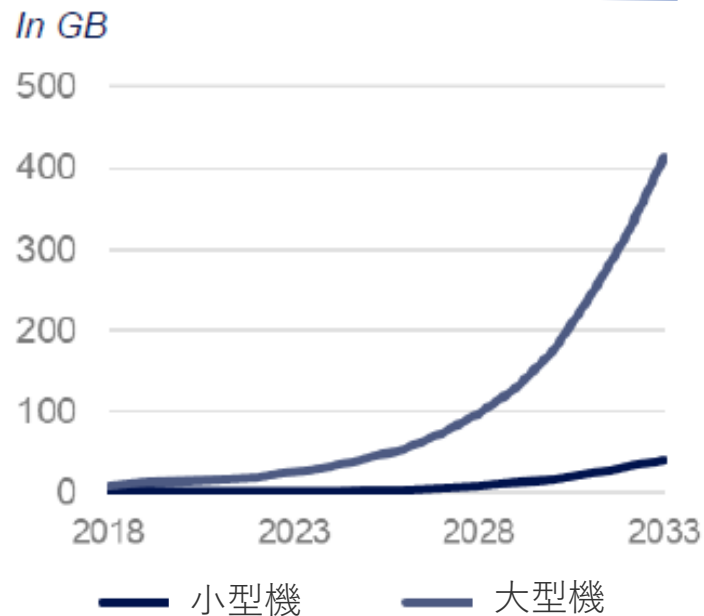
- 東南アジアでの衛星通信需要が拡大
- Intelsatと共同でHorizonsシリーズ衛星保有
- ワシントンD.C.、シンガポール、ジャカルタの拠点を中心に営業活動を促進

■ 航空機・船舶向けブロードバンド回線需要が拡大

- 機内Wi-Fiの利用拡大に伴うデータ量の増加



1フライト当たりのデータ通信容量推移



スペースインテリジェンス

- 地球観測衛星から得られる画像や位置情報など、さまざまなデータを活用したサービスを提供

衛星製造
オペレーション

地球局・データ

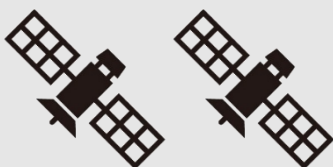
画像解析・分析

エンド
ユーザー



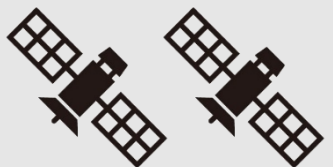
パートナーシップ推進・事業領域拡大

地球観測衛星



光学

SAR



電波監視 Hyperspectral



データ収集
データ伝送



AI 技術



データベース



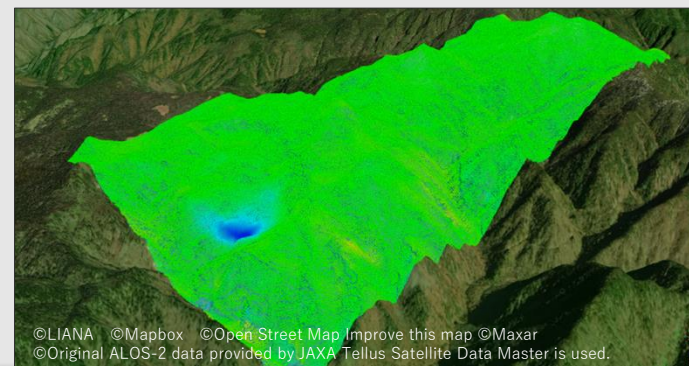
外部データ

天気, 経済, 交通
SNS情報など

画像・データ



アプリケーション解析・分析

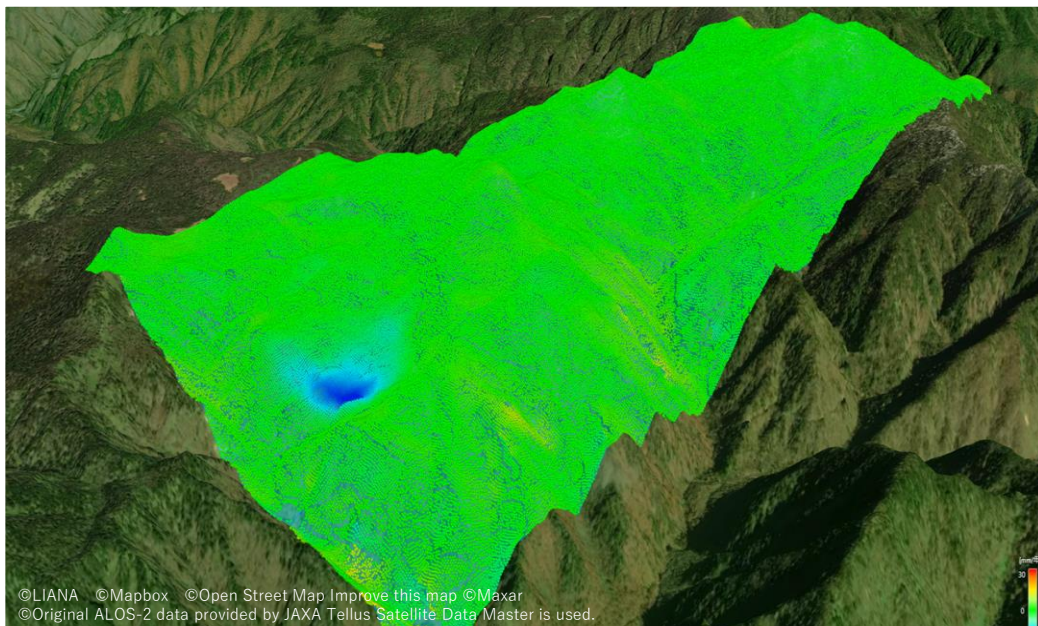


政府
公共事業
民間企業

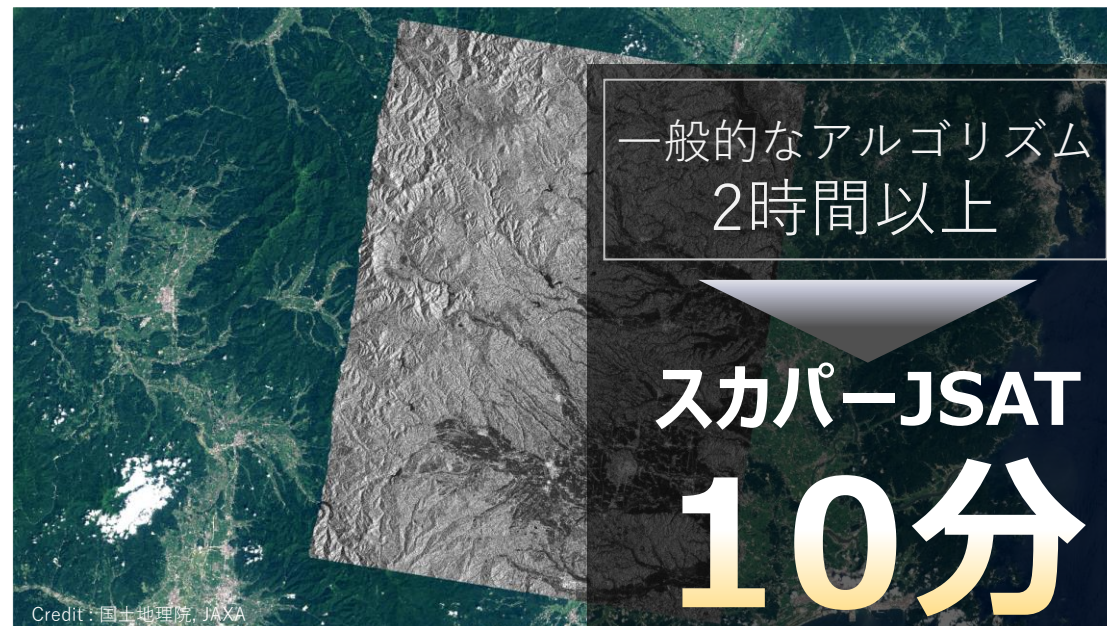


衛星画像解析における優位性

- 専門知識不要で顧客に有意な情報を提供できるUXを開発
- 独自の解析技術を活かして競争力のある「付加価値サービス」を提供



斜面/インフラモニタリング



浸水被害情報解析

迅速な情報提供

競争力

低コスト化



成長性

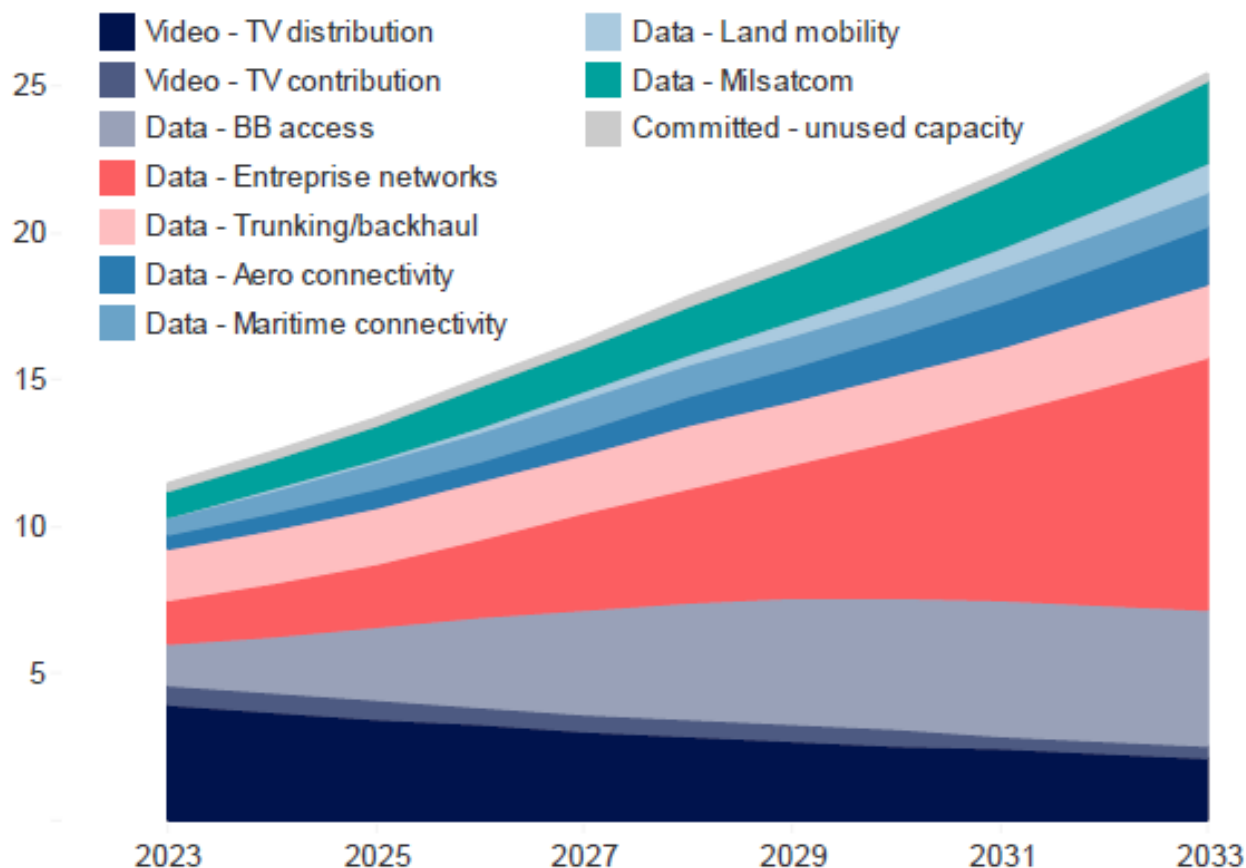
～宇宙事業～



- 世界全体の衛星通信市場規模は、2033年には現在の倍の約4兆円に拡大
- 企業内通信、航空機・船舶等の移動体、安全保障等の需要が拡大

※USD1=150円で計算

Capacity market value forecast by application (in billion USD)



新衛星導入による競争力の強化

- 100Gbps超の次世代静止衛星フリートを実現
- 既存顧客に加え、移動体やアジア太平洋でのシェア拡大
Beyond5G/6Gの新たな需要を獲得



移動体

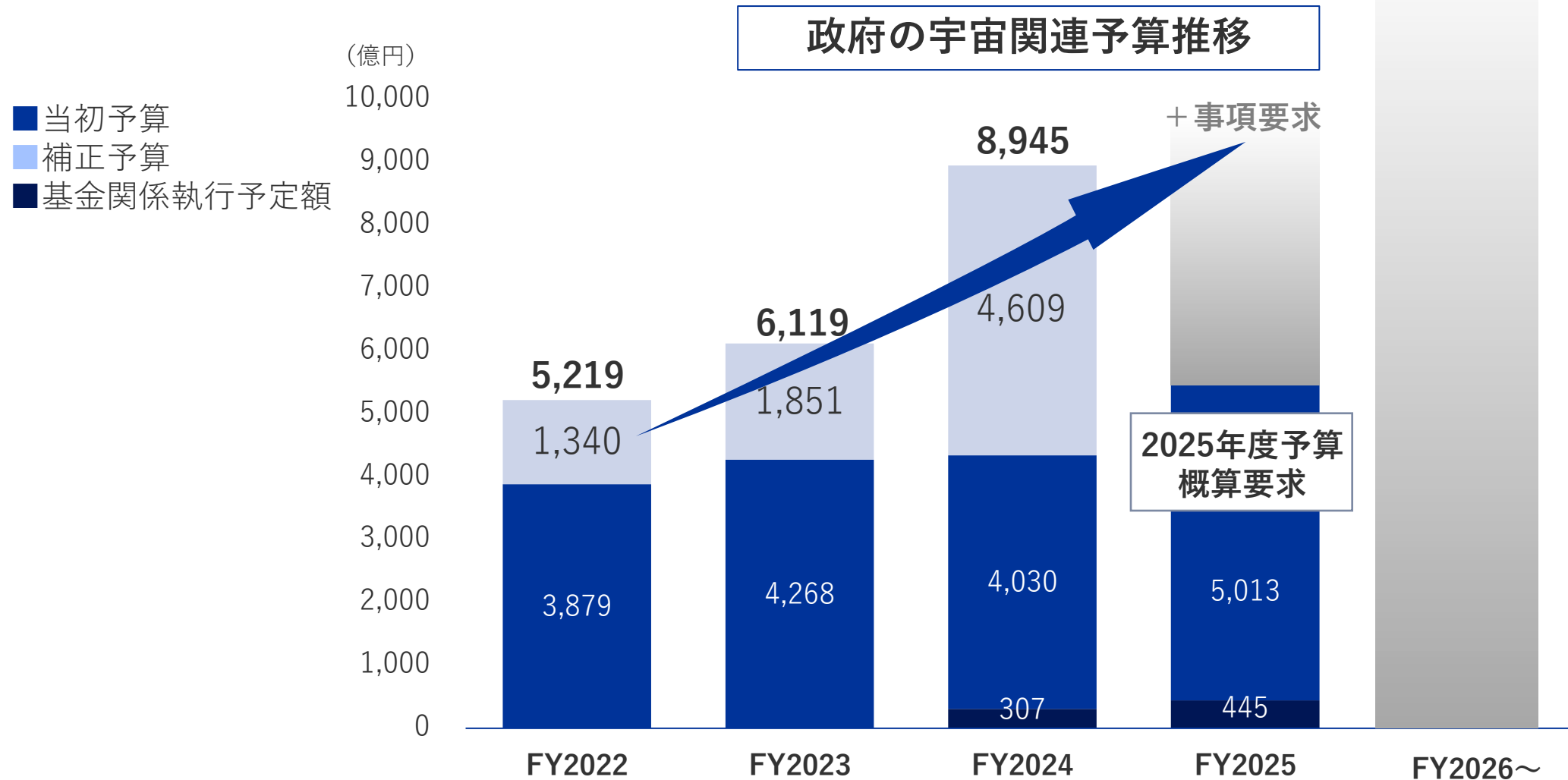
Superbird-9は既に航空機向け回線提供の契約締結済み

アジア・太平洋地域

2030年までに需要が急拡大

宇宙関連予算の増加

■ 変化する安全保障環境を受け、宇宙空間の利用が加速



安全保障における取り組み

- 日本の民間宇宙ビジネスを35年牽引してきた実績を活かし従来の通信回線提供に加え、非通信分野での貢献を目指す



安全保障分野（国内・海外）

2024年度 売上目標

90億円



2030年度 売上目標

150億円

上流への取り組み (スペースインテリジェンス事業)

- QPS研究所との連携を強化
- 小型SAR衛星コンステレーションの活用を促進



エンドユーザー
政府・公共事業・民間企業



低軌道地球観測事業に本格参入 (スペースインテリジェンス事業)

衛星コンステレーションの自社構築・保有に向け約400億円の投資を決定

- 通信から非通信へビジネスフィールドを拡大
- 世界最高水準の30cm解像度を誇る次世代光学観測衛星10機をPlanet社より調達
- 高精細な衛星データの活用により、安全保障ニーズに対応、さらに民間市場開拓を加速

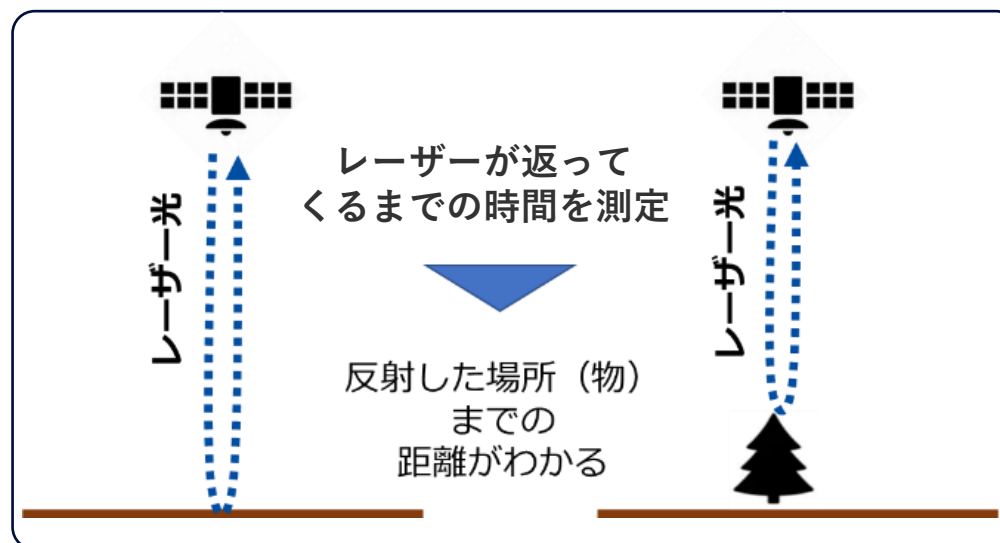
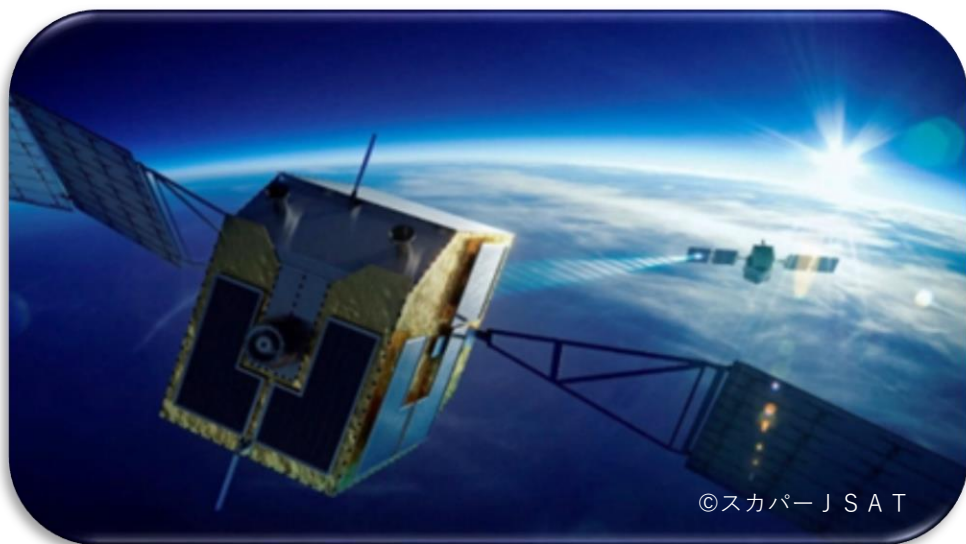


スペースインテリジェンス事業の収益拡大



(株)Orbital Lasersのミッション

- スカパーJSAT発のスタートアップとして2024年1月設立
 - 高度な宇宙用レーザー技術を活用した事業を展開
 - 2024年12月に総額9億円の資金調達を完了、成長を加速
 - ・ スペースデブリ除去事業
 - ・ 衛星ライダー事業
- 衛星ライダーによる高精度な地表面情報を取得し提供する
地球観測事業





SKY Perfect J S A T Group

MEDIA

メディア事業





事業概要



メディア事業の収益構成比

- オペレーションの効率化による放送・配信事業の“筋肉質化”
- 新領域への投資によりさらなる成長を目指す

2023年度営業収益 **665**億円

スカパー!

放送

日本最大級の衛星有料多チャンネルプラットフォームとして顧客管理、加入者獲得プロモーション等を提供。チャンネル事業者/番組供給事業者からは業務手数料、加入者からは基本料を売上として計上。

営業収益構成比

64%



光アライアンス（光再送信サービス）

光回線を経由した地上波/BS放送・FMラジオならびにスカパー！の再送信サービスを提供。今後もサービスエリア拡大による契約者増加とともに大型マンションでの一括導入等により、成長を期待する分野のひとつ。

14%



その他

チャンネル事業者/番組供給事業者向けの、番組送出業務など衛星放送に付随するサービスを中心に、メディアセンターの設備やノウハウ等放送のアセットを活かし、映像制作会社や配信プラットフォーム等民間企業へ課題解決サービスを提供。

22%

放送3サービスと動画配信

衛星放送（アンテナ経由）

今すぐ
番組を楽しむ

スカパー!

約 **70** ch

191万件

視聴料のうち約30%を
業務手数料収入として
収益認識

チャンネル数と
画質にこだわる

スカパー!
プレミアムサービス

約 **130** ch

65万件

視聴料のうち番組供給料を控除した
約50%を視聴料収入として収益認識

光回線経由

アンテナ不要で
スッキリ

スカパー!
プレミアムサービス光

約 **130** ch

65万件

視聴料のうち番組供給料を控除した
約50%を視聴料収入として収益認識

インターネット経由

スマホ・PC・タブレット・TVで
いつでもどこでも

SPOOX

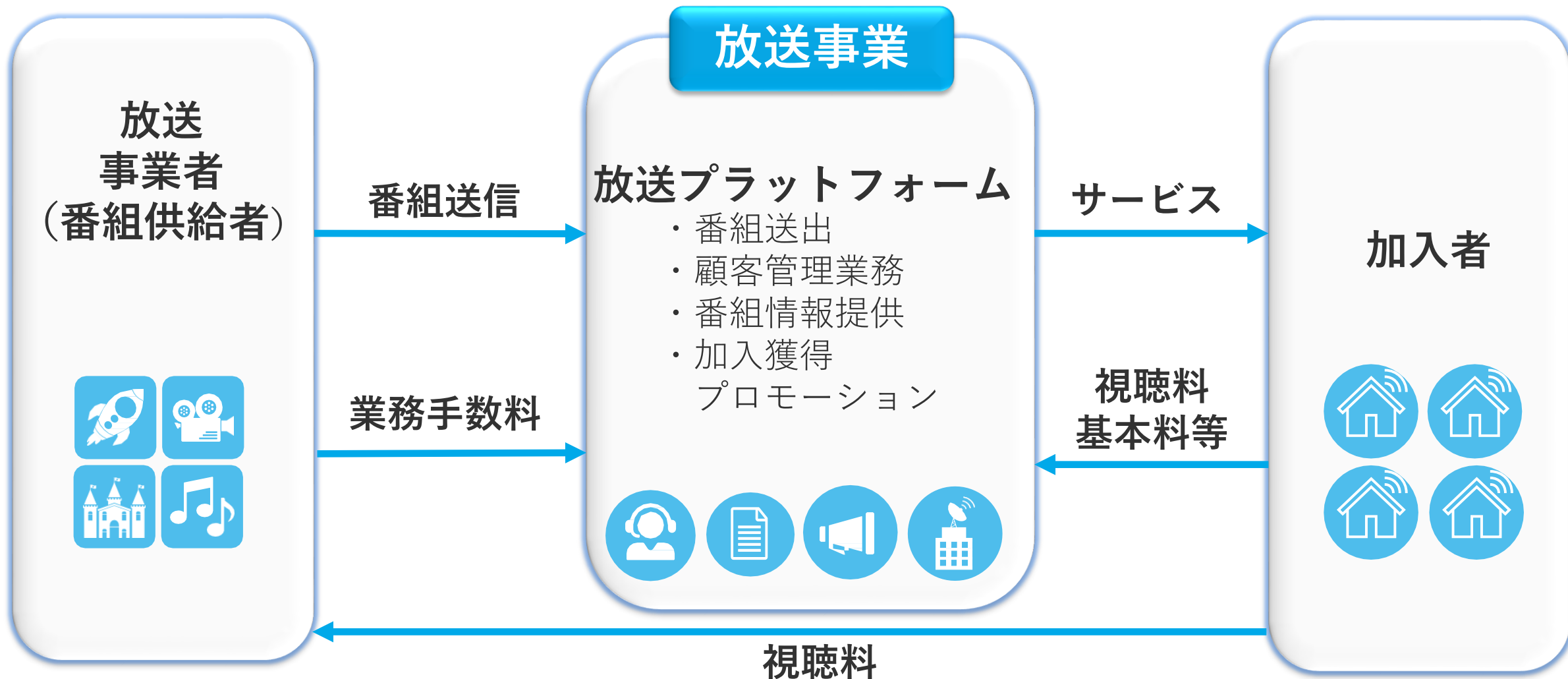
スカパー!に未加入のお客
さまにもご利用いただける
有料動画配信サービス

スカパー!番組配信

放送サービス加入者向け付帯サービス
として無料で提供

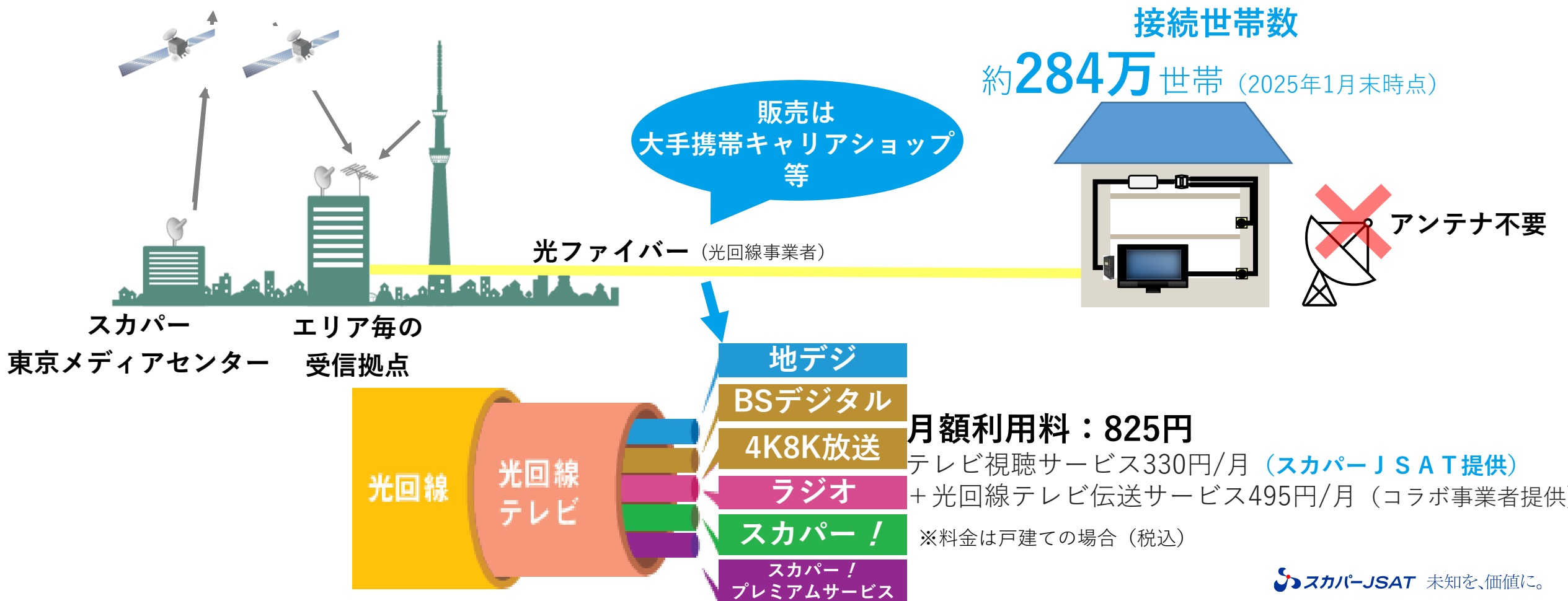
放送ビジネスモデル

- 有料多チャンネル放送スカパー！のプラットフォームとして、各放送事業者と加入者の間で、番組の放送、顧客管理、販売促進業務を実施



光アライアンス：光回線を経由した再送信サービス

- 光回線を経由し地上波・BS/CS放送等を提供
- 提供エリアは37都道府県、世帯カバー率77%まで順調に拡大
- インターネット回線とのセット契約であるため解約が少なく安定的な収益源



メディアソリューション

- 放送・配信事業と衛星通信事業で培ったノウハウを活用し、お客様の映像中継・制作・伝送・配信・サイト運用等の課題解決を支援
- 放送事業者に限らず、企業向けの配信システム構築・運用をワンストップで提供



効率性・経済性・安定性を活かして企業課題を解決



成長性

～メディア事業～



コネクテッドTV

- 主要な動画サービスと番組情報を連携し、サービスを横断したコンテンツを表示することで番組を探す・出会えるUXを実現
- 専用デバイスで手軽にスマートTVの機能追加・向上ができ、TVをスマート化するのに最適

スカパー!+ プラス 2024年10月先行サービス開始



収益モデル

- 利便性向上によるスカパー!解約抑止
(既存事業への貢献)
- CTVプラットフォーム収入
(デバイス販売収入及びデータの活用事業を想定)

利用者ターゲット

- スカパー!契約者を中心に、CATV事業者等の幅広い事業者と連携した普及

(株)スカパー・ピクチャーズ

- スカパー・ピクチャーズ設立
- アニメを中心としたグローバルIPビジネスを創出
- パートナーである伊藤忠グループの資源を活用した流通・商品展開



「チ。—地球の運動について—」

NHK総合テレビにて毎週土曜日放送中（2025年1月時点）
Netflix・Abema、その他各種配信PFにて国内外へ配信

キャスト：島袋美由利・日野聡 ほか

アニメーション制作：マッドハウス



SKY Perfect J S A T Group

成長投資と 株主還元



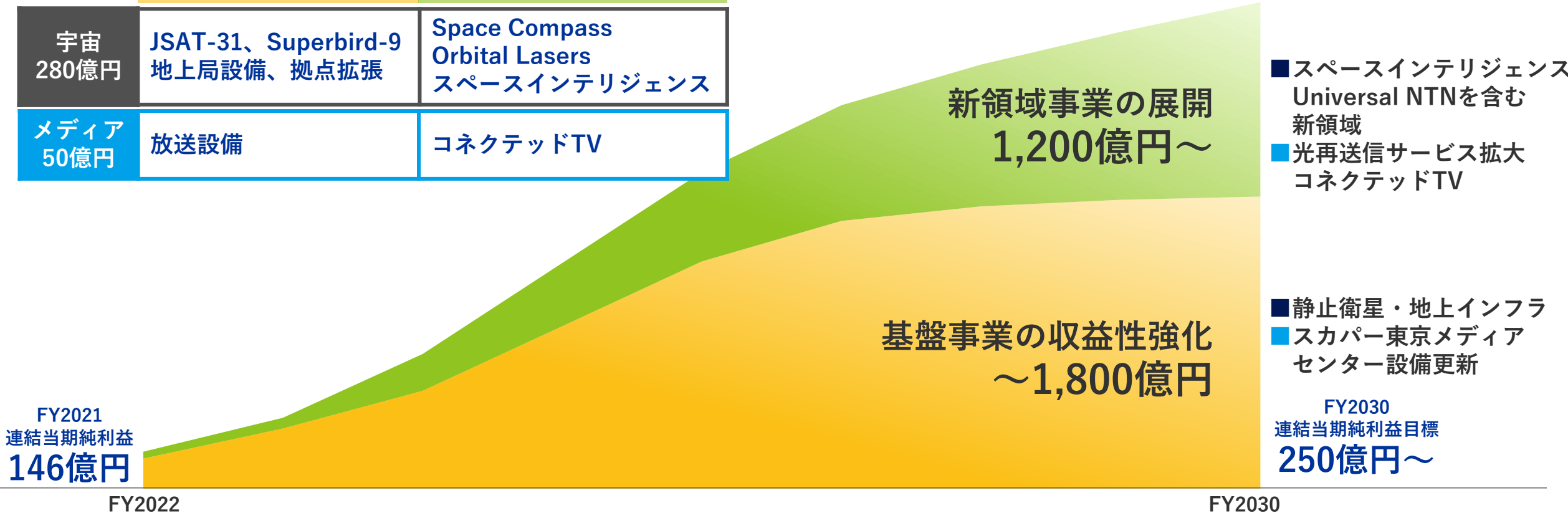
成長投資の進捗

- 2024年下期も積極的に投資を推進（3Q累積実績 225億円）
- 自社保有の低軌道地球観測衛星コンステレーション構築に向けて約400億円の投資を決定

FY2024投資計画

330億円	基盤	新領域
宇宙 280億円	JSAT-31、Superbird-9 地上局設備、拠点拡張	Space Compass Orbital Lasers スペースインテリジェンス
メディア 50億円	放送設備	コネクテッドTV

FY2022～FY2030投資累計 3,000億円

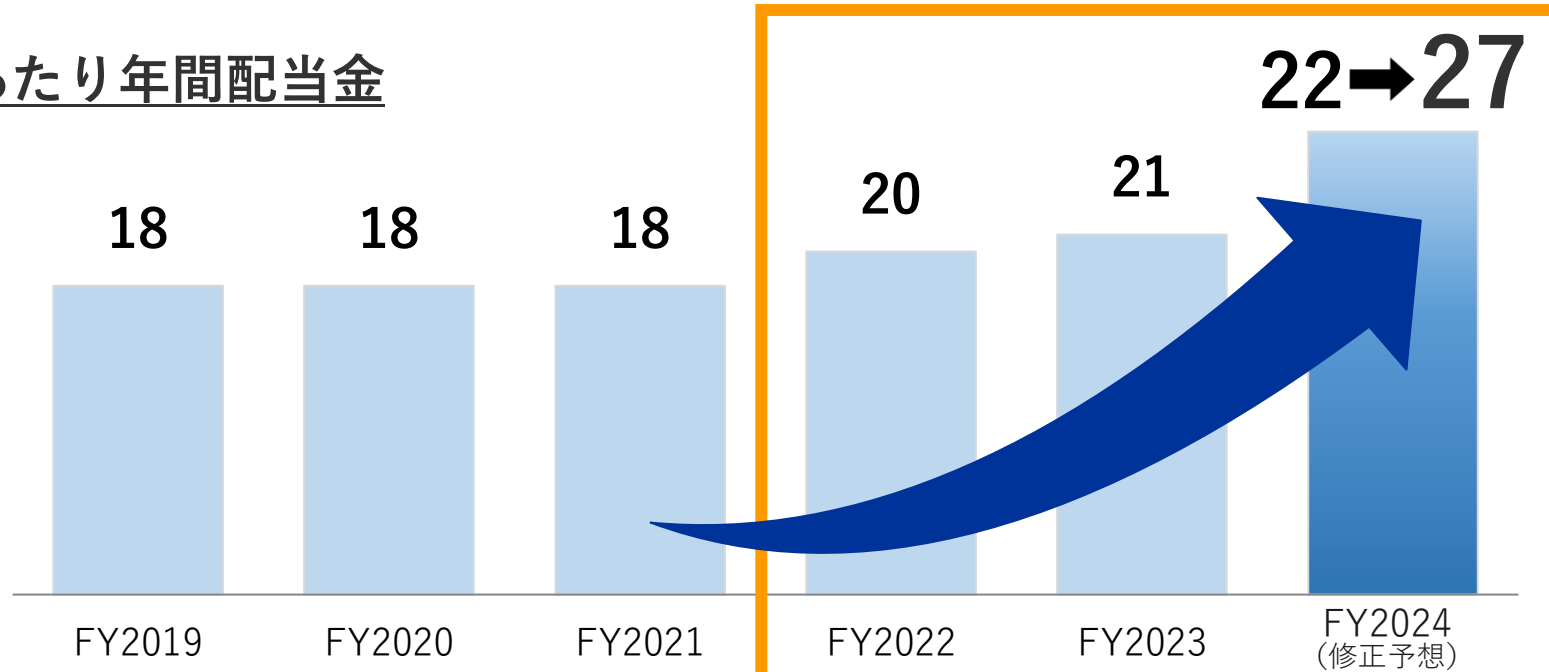


*上記投資累計図はFY2023までは実績値

株主還元

- 期末配当予想を期初予想から5円増配し、16円に引き上げ（1株あたり年間22円から27円に）
- 2022年度から2024年度の3年間の株主還元は、**累計245億円**を見込む

1株あたり年間配当金 (円)



株主還元方針 (2022年4月28日公表)


FY2022～FY2026の
5年間で
株主還元400億円
配当に加え、
機動的に自己株式取得
を行う

(億円)

	FY2019	FY2020	FY2021	FY2022	FY2023	FY2024 (修正予想)
配当金総額	53	53	53	58	60	77
自己株式取得額	—	—	30	—	50	—
合計	53	53	83	58	110	77
2022年度以降累計				58	168	245

株価の推移



A satellite is visible in the upper left quadrant of the image, set against the dark background of space. The lower right portion of the image shows the curved horizon of the Earth, with blue oceans and brownish-green landmasses. The overall scene is a high-angle view from space.

未知を、 価値に。

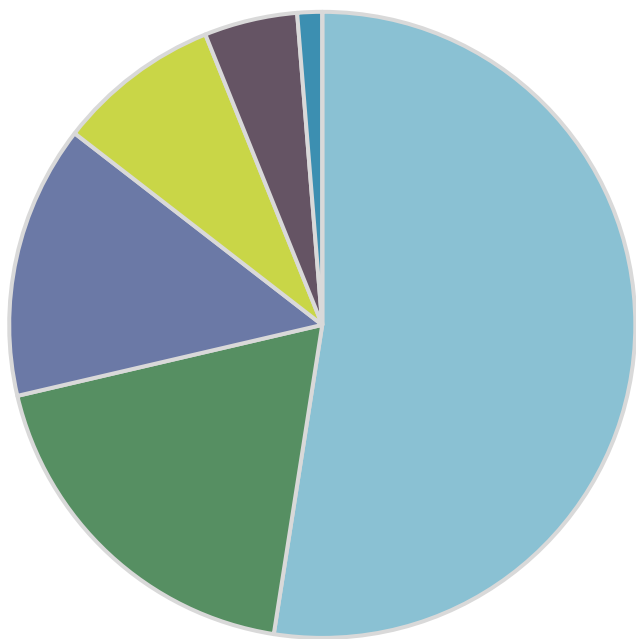
宇宙実業社
スカパーJSAT

参考資料

株主構成

2024年9月末時点

所有者別株式分布



■ その他国内法人…	52.47%	■ 個人・その他…	8.43%
■ 外国人…	18.88%	■ 自己名義株式…	4.81%
■ 金融機関…	14.12%	■ 証券会社…	1.28%

※当社は自己株式を14,323,086株保有していますが、大株主一覧からは除いています。

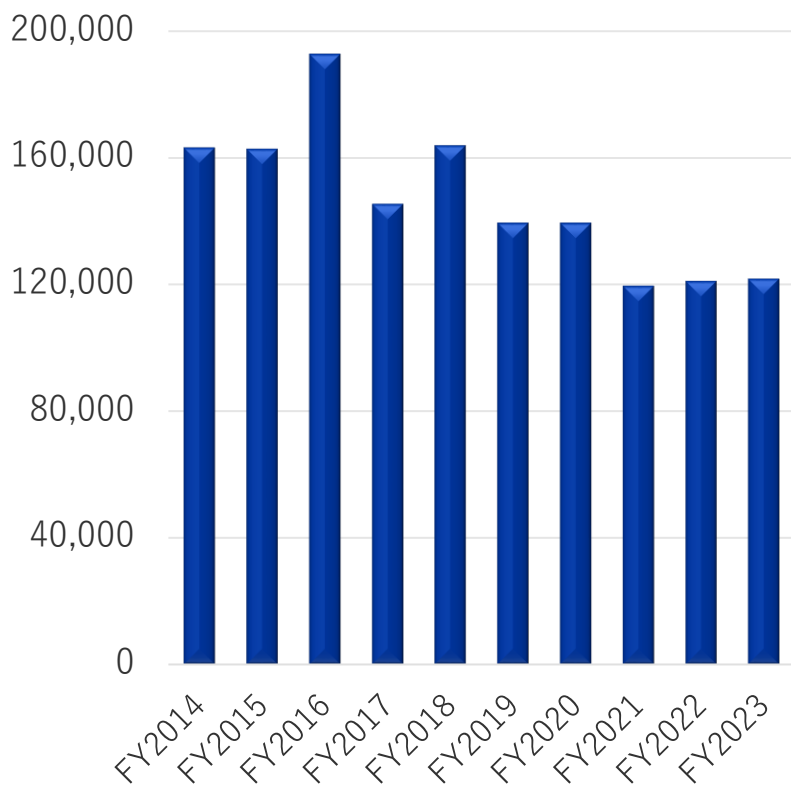
※持株比率は自己株式を控除して計算しています。

大株主一覧

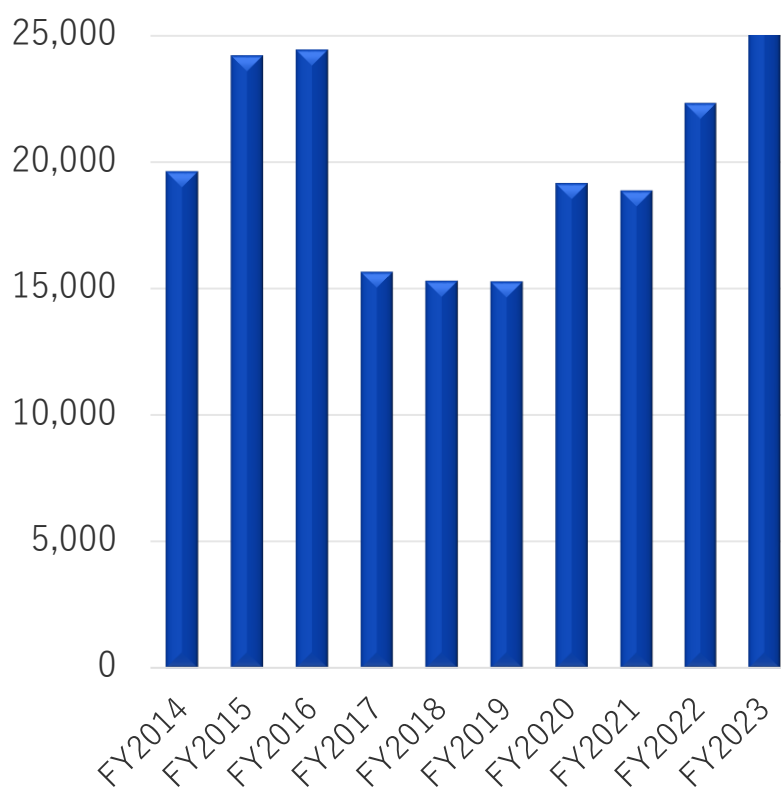
株主名	持株比率 (%)
伊藤忠・フジ・パートナーズ株式会社	27.02
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	9.46
エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社	9.20
日本テレビ放送網株式会社	7.37
株式会社TBSホールディングス	6.51
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	4.18
BNYM AS AGT / CLTS 10 PERCENT	1.95
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	1.00
株式会社電通グループ	0.88

(百万円)

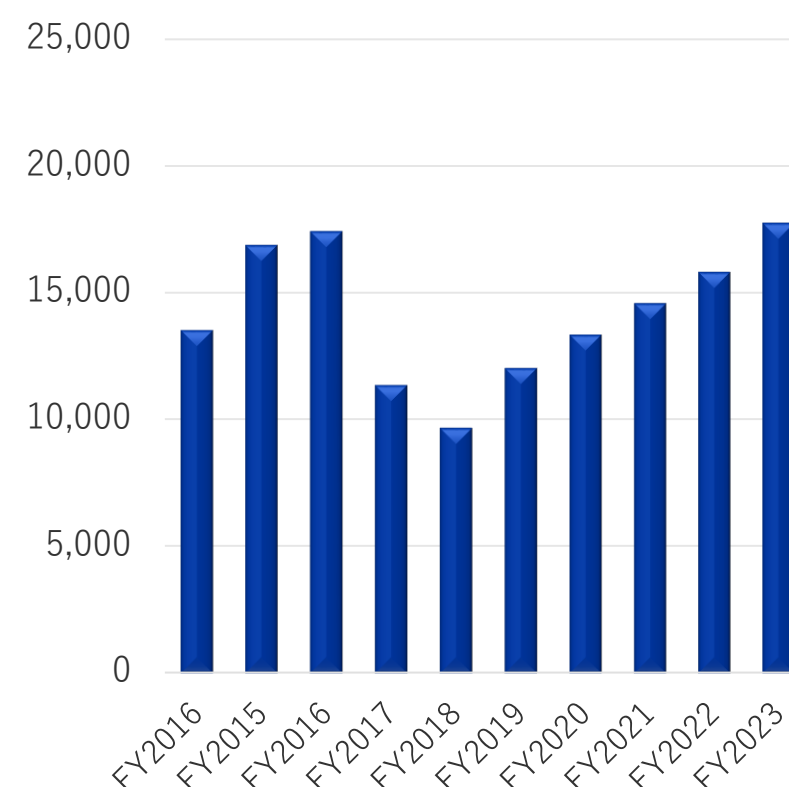
営業収益



営業利益



連結純利益



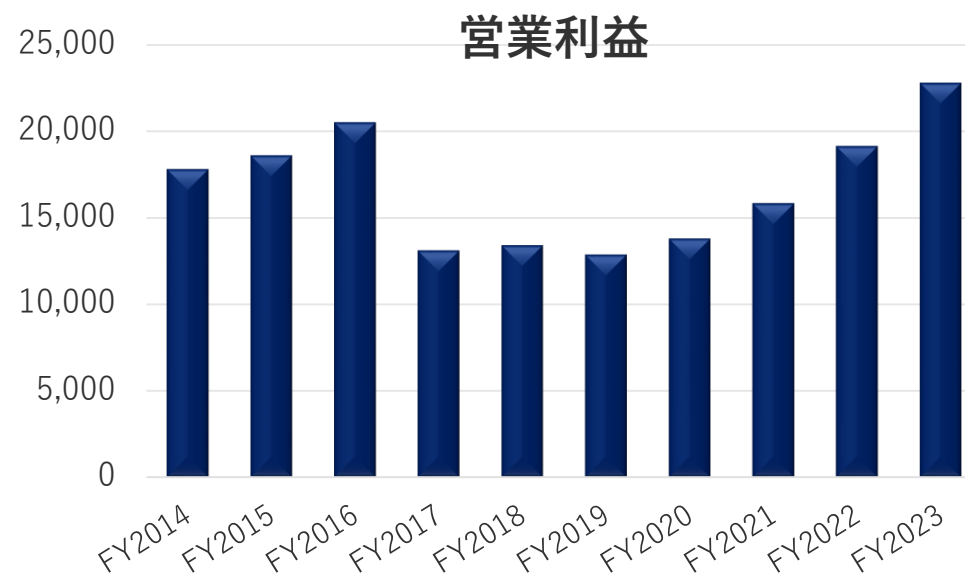
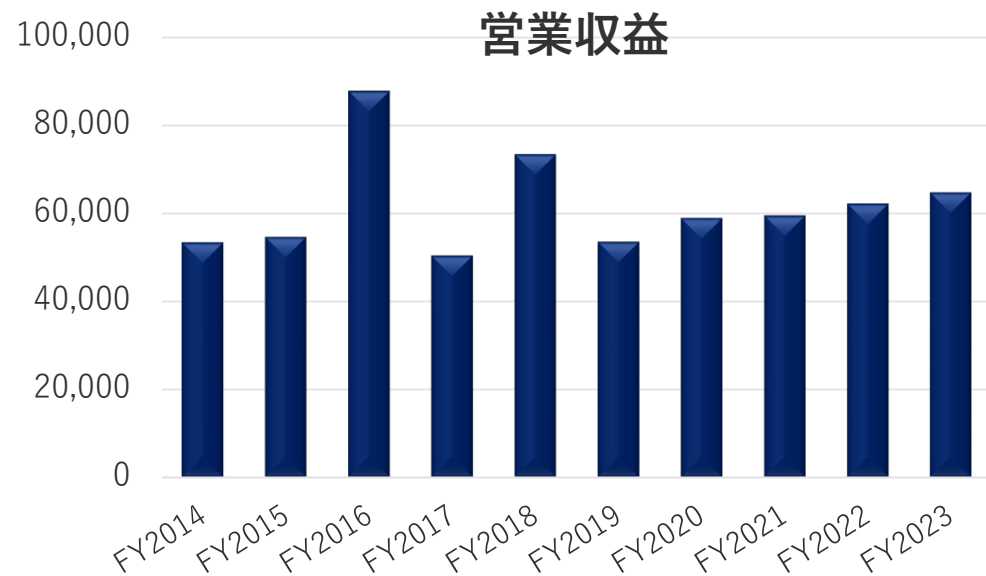
※FY2021から収益認識に関する会計基準等を適用しています。

※FY2016及びFY2018は一過性の防衛省向け通信衛星売却の影響を含みます。

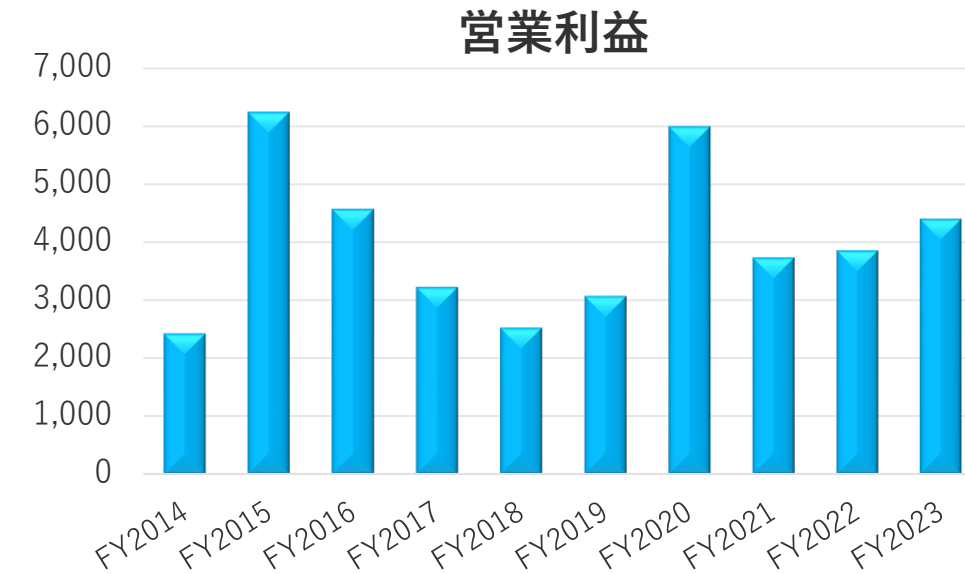
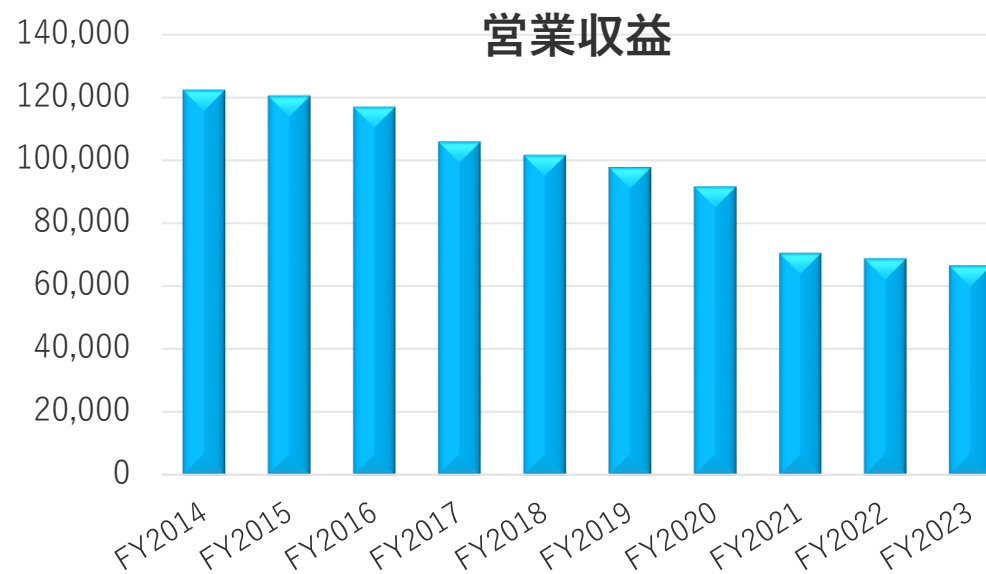
セグメント別業績推移

(百万円)

宇宙事業

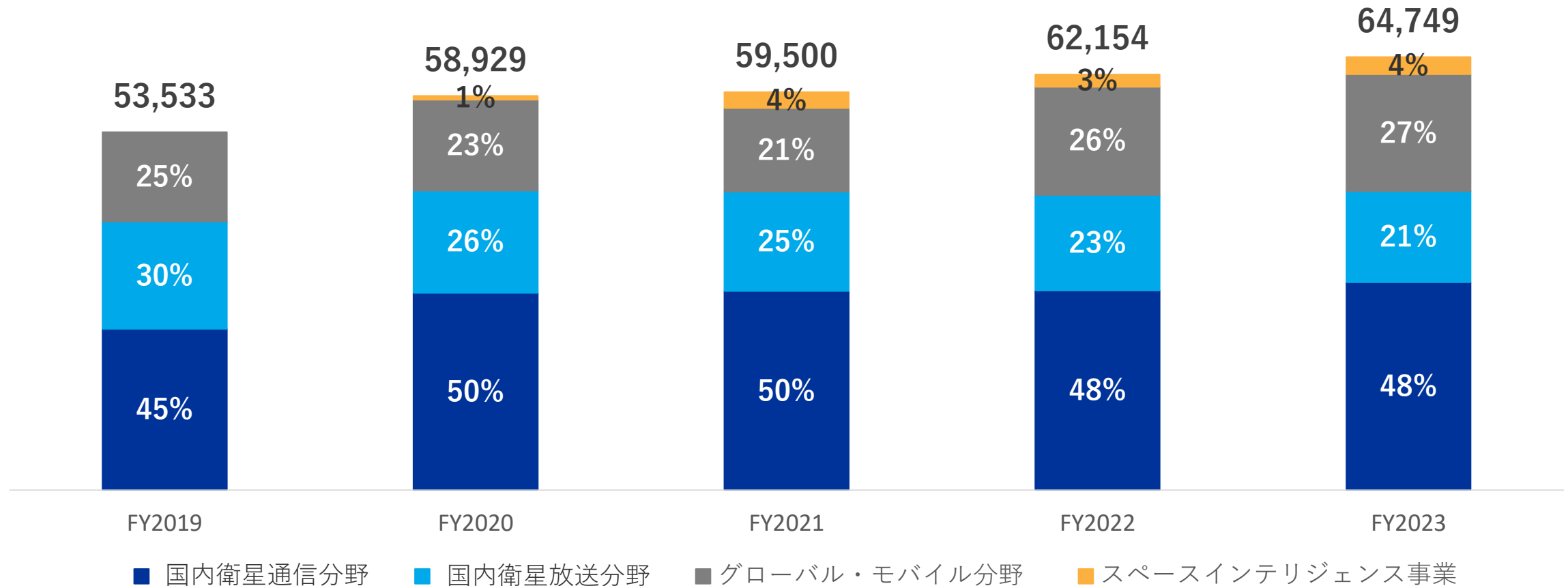


メディア事業



宇宙事業 営業収益構成比

(百万円)



※2021年度から収益認識に関する会計基準等を適用

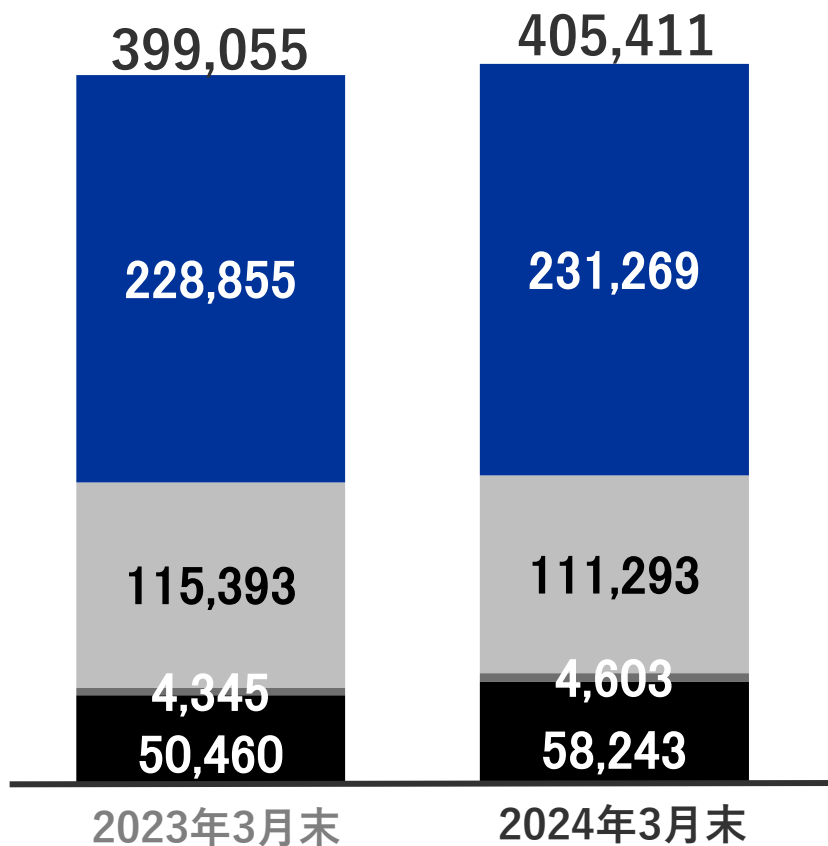
※2021年度の構成比は、画像販売収入の一部を国内からスペースインテリジェンス事業に組み替えて再計算

※2025年3月期第1四半期より「新規事業領域」の名称を「スペースインテリジェンス事業」に変更

連結貸借対照表

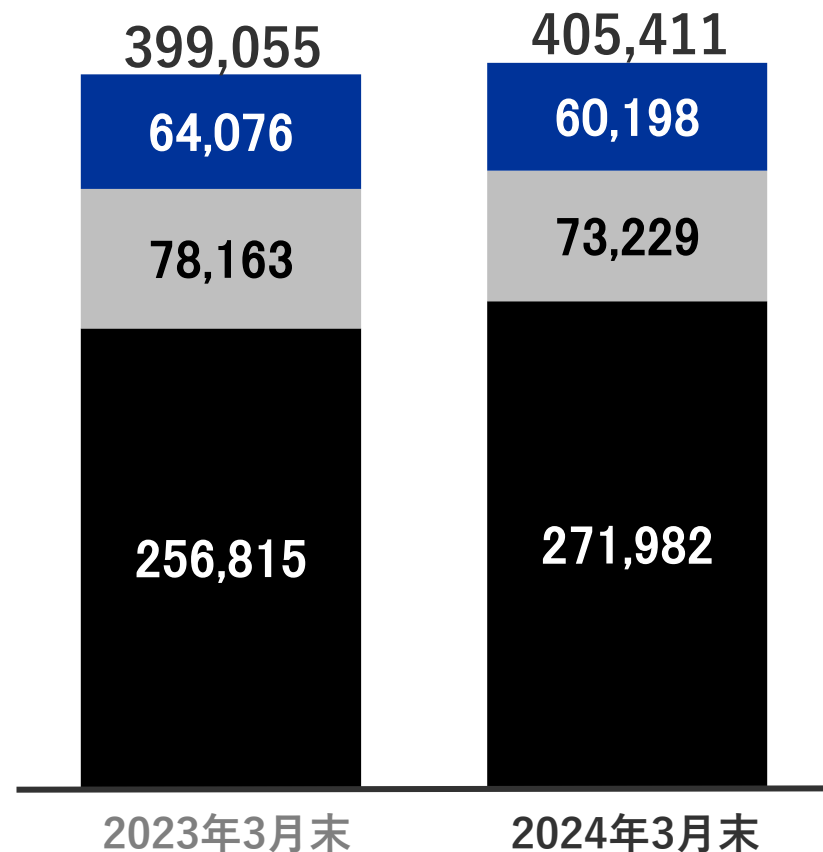
(百万円)

資 産



負債・純資産

自己資本比率：64.0% → 66.7%



流動資産

有形固定資産

無形固定資産

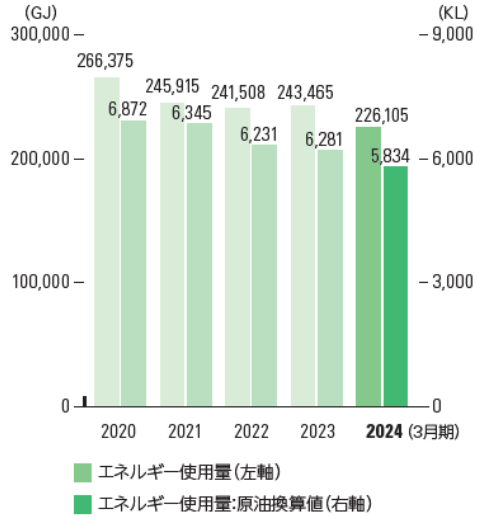
投資その他資産

流動負債

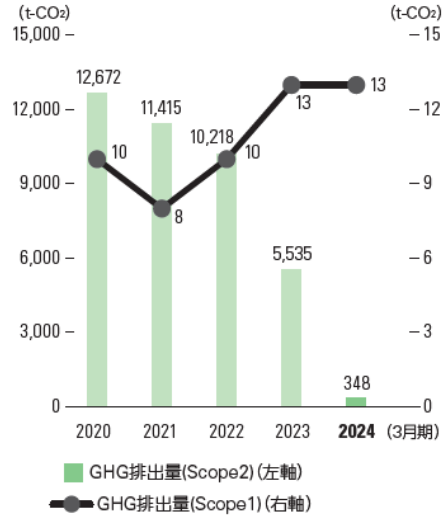
固定負債

純資産

エネルギー使用量



GHG排出量



廃棄物総排出量

2024年3月期 (2023/4/1~2024/3/31) (t)

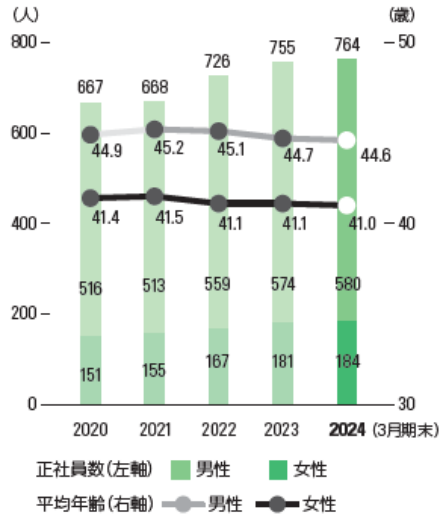
産業廃棄物等総排出量計	79.081
一般廃棄物等総排出量計	62.059
総排出量合計	141.140

(当社および国内連結子会社のうち(株)スカパー・カスタマーソリューションズの一般廃棄物量を除く)

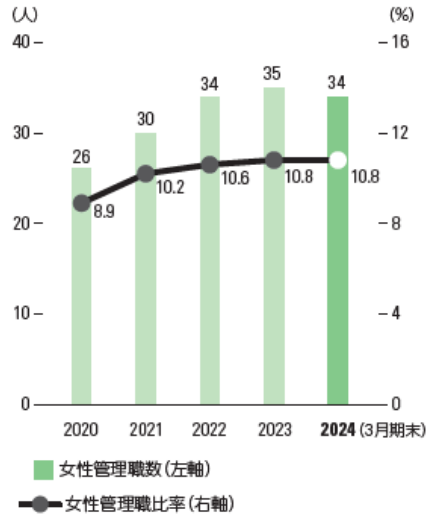
Scope1: 温室効果ガスの排出源からの直接的な大気中への温室効果ガスの排出量
 Scope2: 他者から供給を受けた電気、熱の利用により発生した電気、熱の生成段階でのCO₂排出量
 (サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン(環境省・経済産業省))
 GJ(ギガジュール: エネルギー量の単位)、t-CO₂(重量トン: エネルギー使用量をCO₂基準で換算して重量表示)

2023年度実績の各ESGデータは
 当社グループサイトにて公開しています。
https://www.skyperfectjsat.space/sustainability/library/data_e/

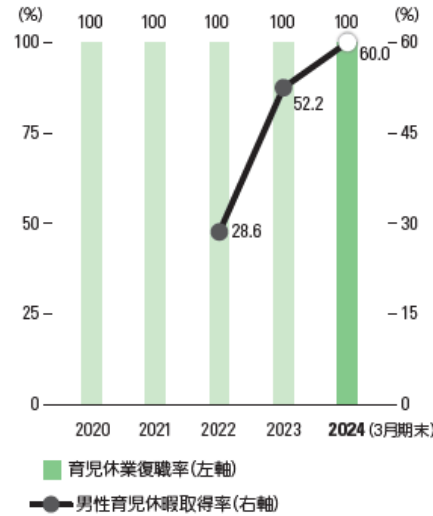
正社員数・平均年齢



女性管理職数・比率



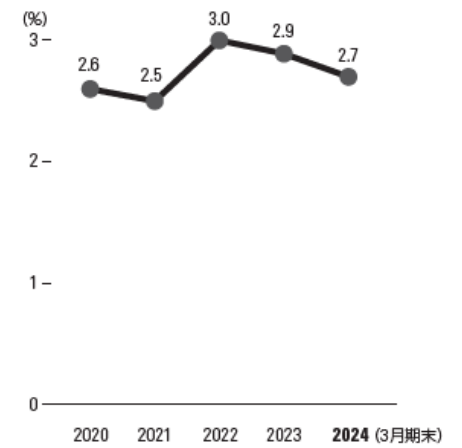
育児休業復職率・男性育児休暇取得率



キャリア採用率



障がい者雇用率



Space for your Smile

不安が「安心」にかわる社会へ
不便が「快適」にかわる生活へ
好きが「大好き」にかわる人生へ

Space for your Smile には、私たちの目指す世界が描かれています。

宇宙も、空も、海も、陸も、家族が集うリビングも、ひとりの自由な場所も、

これらすべての Space が笑顔で満たされるように。

日常のちょっとした幸せから、まだ見ぬ未来の幸せまで、

ひとりひとりの明日がよりよい日になっていく、そんな世界を創りつづけます。

本資料に関するお問い合わせは、下記担当部までお願い致します。

株式会社スカパーJSATホールディングス

広報・IR部



メール配信サービスはこちらよりご登録ください

<https://www.skyperfectjsat.space/ir/mail/>

IR、企業広報に関するプレスリリース及びイベント等を

電子メールでお届けします



X



LinkedIn



YouTube

